



袋高通信

あいのだより

'23 3月号

令和5年2月28日発行

通巻第187号

静岡県立袋井高等学校

「世界と対峙していく諸君へ」



校長 須藤 秀幸

3年生の保護者の皆様、お子様の御卒業おめでとうございます。この3年生は高校入学直後からコロナウイルスの影響を受けた学年で、思うようにならないことも多く、保護者の皆様も御苦労が多かったことと推察いたします。無事卒業できたことへの感慨もひとしおかと思えます。ただ、進学校の宿命ではありますが、国公立の前期の2次試験がようやく終わったばかりで、合否もわからずに卒業式に臨む3年生もかなりの数に上ります。小林一茶の句に「めでたさも中くらいなりおらが春」というのがありますが、そんな心持ちの方も多いでしょう。

さて、この春、卒業するお子さまはこの4月から小中高と続いた学校社会とは大きく異なる世界に投げ出されます。未知の世界、大きな自由、言い訳のできない自己決定が連続する世界です。ある人はその自由さに解放感を感じるでしょう。ある人は地獄もなないまま未知の国に放り出されたかのような不安を感じるでしょう。いずれにせよ、共通するのは自分の頭と心と体で世界と向き合わなければならないということです。

ところで、皆さんは「コンフォートゾーン」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。

直訳すれば居心地のよい空間ということになるでしょう。不安や困難や刻苦のない快適な空間です。未知のことをできる限り避け、昨日と同じように安全で快適な空間にとどまれば不快や不安を感じずに済み、失敗ありません。ネット空間も自分が主役でいられ続けられるという意味ではこのコンフォートゾーンの1つかもしれません。

もし、皆さんが会社の社長なら、コンフォートゾーンの中で4年間を過ごした学生と頭と心と体で世界と向き合ってきた学生どちらを採用しますか。答えは一目瞭然です。変化の激しい世界の中で企業として生き残っていくには、そんな世界とでも対峙できるタフな社員が不可欠です。4年間、安寧な空間にとどまり続けた学生ではあまりにも心もとないと考えるのが普通でしょう。

お子さまを送り出す保護者の皆様にお願いがあります。ぜひ「高校を卒業したからにはコンフォートゾーンを飛び出し世界と向き合え。」と檄を飛ばしてあげてください。

総務課より

総務課長 齋藤 通也

卒業生保護者の皆様へ

3年生の保護者の皆様、お子様の御卒業おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。お子様の在学中は、様々なPTA関連行事に御支援、御協力をいただきありがとうございます。特に、上田PTA会長他、PTA役員・評議員の皆様には御無理をお願いすることばかりでしたが、快く御協力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。今後も袋井高校の発展を見守っていただければ幸いです。卒業生の皆様、並びに保護者の皆様の益々の御活躍をお祈り申し上げます。

一年生・二年生の保護者の皆様へ

本年度PTA関連行事への御支援、御協力、誠にありがとうございました。本年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響でPTA総会は書面決議になりましたが、地区会や学年PTAは予定通り開催することができました。PTA活動を通して、お子様の学校生活をより充実したものにできよう今後も努力していきたいと思えます。御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。



令和4年度 学校教育活動自己診断票(生徒用) (令和4年12月実施)

質問項目	質問項目				①+②(%)	③+④(%)
	①よくあてはまる	②ややあてはまる	③あまりあてはまらない	④全くあてはまらない		
1. 教育課程(学習計画)は自分の進路希望の実現につながるものとなっている。	227	402	70	13	88.3%	11.7%
2. 個人やグループで考え、意見を述べ合う授業が多い。	207	332	144	29	75.7%	24.3%
3. 授業で学力が向上した。	247	401	56	8	91.0%	9.0%
4. アクテイブ・ラーニング(型)、ICT活用など教材・教え方に様々な工夫をしている先生が多い。	209	389	94	20	84.0%	16.0%
5. 学習時間調査で、自分の学習状況を知ることができた。	150	346	168	48	69.7%	30.3%
6. 先生は生徒の質問に対してわかりやすく丁寧に対応してくれる。	315	338	52	7	91.7%	8.3%
7. 先生方は、生徒の悩みの相談に乗ってくれる。	252	351	90	19	84.7%	15.3%
8. 授業で意見を述べた。	128	345	194	45	66.4%	33.6%
9. 国語の授業をおして、文章を的確に読み取り、構面に応じて自分の考えを話したり、書いたりする力がついた。	263	376	60	13	89.7%	10.3%
10. 数学の授業や課題、定期テスト等をおして、論理的に考える力が伸びた。	217	343	115	37	78.7%	21.3%
11. 英語の授業をおして主語と動詞の響った自分の考えを伝える英文を書くことができた。	249	374	70	19	87.5%	12.5%
12. 理科の授業をおして科学的な探究力をつけることができた。	220	356	95	39	81.2%	18.8%
13. 地域公民の授業、課題、定期テストなどをおして、現代の社会や歴史について考える力を身につけることができた。	306	340	61	5	90.7%	9.3%
14. 体育の授業で知識と実践する態度を養うことができた。	350	318	30	14	93.8%	6.2%
15. 【1年生の回答してください。】芸術(音楽・美術・書道)の授業をおして芸術のすばらしさを味わい、創造的な表現ができた。	116	106	12	5	92.9%	7.1%
16. 【1年生全員と3年生の選択者は回答してください。】家庭科の授業をおして、今の自分の実生活向上につながる知識や技術が身についた。	153	107	10	3	94.9%	4.7%
17. 【1年生のみ回答してください。】情報の授業で情報に関する知識や技術が向上した。	109	111	14	3	92.1%	7.1%
18. 文理選択が主体的に行えた。(1年) / 自分の進路希望に合ったコース、科目選択ができた。(2年) / 進路資料の検討や学部等の進路決定が自発的・主体的に行えた。(3年)	395	289	25	3	96.1%	3.9%
19. 補講や集中学習期間(3年生夏休み)は、進路目標達成のために役立っている。	185	294	67	15	88.7%	11.5%
20. 外部研修の結果をその後の学習に生かすことができた。	193	379	115	25	80.3%	19.7%
21. 国際交流活動に将来参加したい。	135	222	234	121	50.1%	49.9%
22. 福祉活動や、ボランティア活動に将来参加したい。	172	284	190	66	64.0%	36.0%
23. 明るい挨拶や構面に応じた言葉遣いができている。	321	354	34	3	94.8%	5.2%
24. 学校行事や生徒会活動に主体的に参加している。	336	319	46	11	92.0%	8.0%
25. 学校行事や生徒会活動への取組をおして創造力・企画力・運営力・協働性等が向上した。	256	371	65	18	88.3%	11.7%
26. 保護者への通知(あいのだより)・学年通信・各種行事の案内等)は保護者に必ず達している。	303	281	93	35	82.0%	18.0%
27. 感染症対策(マスクの着用・手指消毒・黙食)、心身の健康維持、増進のために積極的に取り組んでいる。	466	230	12	4	97.8%	2.2%
28. 2時間以上家庭学習時間を確保して部活動との両立をしている。	210	288	167	47	69.9%	30.1%
29. 部活動に充実感を感じている(1・2年) / 部活動に充実感を感じていた。(3年)	370	244	75	23	86.2%	13.8%
30. 校内外において、森井高校生として自尊ある行動ができた。	367	307	34	4	94.7%	5.3%
31. 服装・服装のルールを守っている。	552	152	8	0	98.9%	1.1%
32. 校舎内外清掃が行き届いている。	228	309	125	50	75.4%	24.6%
33. 一旦停止や、並進をしないなどの交通ルールを守って登下校している。	480	217	14	1	97.9%	2.1%
34. 森井高校新聞の内容が充実している。	198	380	102	32	81.2%	18.8%
35. 図書館は充実し、整備されている。	383	290	24	5	95.9%	4.1%
36. 図書館は、学習活動等の学校生活に役立っている。	281	333	80	18	86.2%	13.8%
37. 芸術鑑賞教室は、感性や教養を高めるのに役立っている。	373	271	52	16	90.4%	9.6%
38. 大規模地震等に対する防災意識が高まり、自分でできることを実践している。	271	361	74	6	88.8%	11.2%
39. 事務室は、学校の窓口として、適正な対応をしている。	352	321	30	9	94.5%	5.5%
40. 本校に入学して満足している。	234	345	101	32	81.3%	18.7%

令和4年度 学校教育活動自己診断票(保護者用)

(令和4年12月実施)

質問項目	①よくあてはまる	②ややあてはまる	③あまりあてはまらない	④全くあてはまらない	①+② (%)	③+④ (%)
1. 教育方針や学校生活の様子及び詳細情報がよく伝わっている。	69	398	186	16	69.8%	30.2%
2. お子様との会話から、個人やグループで考え、意見を述べ合う授業が多いと感じている。	46	342	262	19	58.0%	42.0%
3. 福祉教育やボランティア活動に熱心に取り組んでいるようである。	45	303	293	28	52.0%	48.0%
4. 交通安全教育に熱心に取り組んでいるようである。	141	384	128	16	78.5%	21.5%
5. 人権教育や心の教育に熱心に取り組んでいるようである。	51	390	212	16	65.9%	34.1%
6. 学校図書館は、生徒の学習活動の充実や情報教育に役立っている。	72	389	192	16	68.9%	31.1%
7. 進路行事(大学派遣講座・学年PTA等)は生徒の進路選択に役立っている。	108	404	146	11	76.5%	23.5%
8. 教職員が協力しあって学校運営にあたっている。	117	443	98	11	83.7%	16.3%
9. 保護者からの連絡、悩み、相談したいことについて、教職員は適切に対応してくれる。	140	411	102	16	82.4%	17.6%
10. 生徒は、心身の健康や学校生活の悩み等について先生に気軽に相談できるようである。	105	347	190	27	67.6%	32.4%
11. 進路についての情報(進路室の資料や生徒配布資料等)は充実している。	86	394	183	16	70.3%	29.7%
12. 学校は施設・設備・物品の整備・美化に努めている。	71	436	134	28	75.8%	24.2%
13. ホームページや発刊物・行事などを利用し学校の広報活動に力を入れている。	76	413	164	16	73.1%	26.9%
14. PTA活動が充実している。	40	345	269	15	57.5%	42.5%
15. 【参加されなかった方はバスしてください。】学年PTAの種類・コース登録や修学旅行等の説明は満足できるものであった。	86	233	60	12	81.6%	18.4%
16. 地震時の学校の対応について、生徒に十分な情報提供をしている。	101	428	131	9	79.1%	20.9%
17. 生徒の怪我・病気予防や、健康増進のための取り組みを行っている。	114	405	106	17	80.8%	19.2%
18. 校舎内外の清掃活動や美化活動に積極的に取り組んでいるようである。	100	439	120	10	80.6%	19.4%
19. 学校祭「緑風祭」は内容が充実しており、生徒も満足しているようである。	203	343	107	16	81.6%	18.4%
20. 生徒は部活動に対して、充実感を感じていたようである。	261	296	95	17	83.3%	16.7%
21. 部活動と学習時間の両立が図られている。	118	355	170	26	70.7%	29.3%
22. 校則及び生活指導の方針について理解している。	129	425	106	9	82.8%	17.2%
23. 生徒の服装や頭髪等は満足できる状態である。	224	349	79	17	85.7%	14.3%
24. 各種課外学舎・授業料減免制度について知っている。	136	390	115	28	78.6%	21.4%
25. 事務室は、学校の窓口として適正な対応をしている。	226	387	47	9	91.6%	8.4%
26. 緑井高校に入学させて満足している。	248	337	70	14	87.4%	12.6%
27. 緊急メールが適切に利用され、情報が提供されている。	324	311	28	6	94.9%	5.1%

進路課 二〇二三年度大学共通テストの結果と志望動向分析

進路課長 原田 卓彦

2023年度大学入学共通テストは、1月14日(土)15日(日)の二日間にわたり実施されました。志願者数は512,581人と前年から約1万8千人減少しました(前年比97%)。昨年530,367人、一昨年535,245人。現卒別の内訳をみると、現役志願者数は436,873人(12,496人減、前年比97%)、(昨年449,369人、一昨年449,795人)、志願者数全体に占める現役生の割合は85%と過去最高となりました。一方、既卒生等の志願者は前年比93%と高い減少率となりました(既卒生の割合14%)。大学入試はここ2、3年で急速に競争緩和が進んでおり、既卒生志願者は減少しています。例年以上に現役生中心の入試となっています。本校の科目別受験者数と平均点は別表の通りです。

① 出題傾向は変化なし
3年目となる今年の共通テストは、全体的な出題傾向に大きな変化はなく、多くの教科で文章や図表、資料など複数のテキストを読み取り解答する出題や、過去2年出題されてきた日常生活や学習過程を想定した場面設定も多くみられました。問題文量や素材となる資料が増えたことで、多くの科目で問題ペーシ数が増えています。

② 平均点上昇
大学入試センターから発表された平均点(中間集計)をみると、全体に易化。「英語(リーディング)」「国語」の平均点が下がった一方、昨年大幅に難化した「数学I・数学A」「数学II・数学B」は2科目合計で+35.8点と大幅に上昇しました。「数学I・数学A」は昨年と比べて思考力を要する問題が減り組みやすい構成であったこと、「数学II・数学B」は問題の意図が明確で計算量も減ったことなどが平均点アップにつながったようです。なかでも「数学II・数学B」では80点以上の高得点層が前年から大幅に増えており、高得点が取りやすかった様子が見えます。理科②(物理・化学・生物)

③ 出題内容(英語、国語、数学)
「英語(リーディング)」：昨年同様、様々な場面や状況に応じた題材が取り上げられました。全体問が読解形式であり、読解する英文量は昨年並みの約4500語。出来事を時系列順に並べ替える問題や、英文の内容をまとめたプレゼンテーションスライドを完成させる問題。複数の大問でイギリス英語による出題がありました(昨年同様)。

④ 予想ポスター得点率の上昇
多くの国公立で必要となる5教科7科目の平均点(900点満点)は、文系が542.2点(+22.5点)、理系が554.0点(+30.8点)と文理ともに大きく上昇しました。前述したように数学2科目の平均点アップの影響が大きいです。共通テストの平均点上昇は、各大学のポスターラインにも大きく影響します。昨年の共通テストは難化しましたが、今年は一転して得点率8割(720点)以上の高得点層が前年から倍増しました(前年比文型19.9%、理型19.6%)。文系・理系ともに分布の山は高得点側にシフトしました。予想ポスター得点率(静岡人文・社会：42.0(70%)、人文・法：42.0(70%)、人文・経済：58.5(65%)、教育・国語54.9(61%)、教育・社会：56.7(63%)、教育・理科：53.1(59%)、工・機械工42.7(61%)、工・電気電子工42.7(61%)、農・生物資源53.1(59%)、農・応用生命56.7(63%)、情報・情報科学40.2(67%)、情報・情報社会52.7(62%)など)。

⑤ 国公立大学
近年、学部の新設や改組、後期日程の廃止・縮小や学校推薦型・総合型選抜の拡大などに伴って一般選抜の募集人員を減らす大学がみられます。一方、後期日程の復活や学校推薦型・総合型選抜から一般選抜へ募集人員を再分配する大学もあります。募集人員に変更があった学部・学科では、志願者数は前年並みでも倍率は変動するため注意が必要です。さて、入試の中心となる前期日程の出願予定者は前年比

は科目間の平均点差が大きく開いたため、得点調整が行われました。

「英語(リスニング)」：イラスト並べ替え問題がなくなり、図表完成問題が出題。音声情報と図表などの視覚情報を組み合わせて答える問題が昨年同様出題されました。音声の速さ(平均で約140語/分)、総語数(約1500語)は昨年並み。一部設問にイギリス人や日本人を想定した話者が含まれていた点も昨年同様。日頃から様々な音声や問題形式に慣れておくことが求められます。

年度は「図形と計量」「2次関数」「2次関数」と「集合と命題」の融合問題が出題されました。「数学II」：「積分法」「数列」で現実事象の問題。「図形と方程式」は出題無し。昨年からは易化。全体を通して、前設問を利用しながら考察する問題が多く出題されました。教科書などではあまり見慣れない形で基本的な知識を問うものも出題。見慣れない問題を解く際は、値を代入した結果の推測や、条件の読み替えなど、自分のもつ知識との結びつけが重要になります。見通しを立てて解き進めるようにしました。(昨年度は、問題解決の課程が重視された出題が多い。頻繁に太郎さんと花子さんが登場し、2人が問題解決する過程の追体験)。

99%と前年並みです。一方、後期日程は前年比104%と増加しています。共通テストの平均点アップにより、後期日程まで視野に入れて出願を検討する受験生が増えたようです。(昨年度は前年比92%と大きく減少。後期日程廃止・縮小による影響以上の減少となり、共通テストの結果が出願を敬遠しました)。

⑥ 国公立大学
近年、学部の新設や改組、後期日程の廃止・縮小や学校推薦型・総合型選抜の拡大などに伴って一般選抜の募集人員を減らす大学がみられます。一方、後期日程の復活や学校推薦型・総合型選抜から一般選抜へ募集人員を再分配する大学もあります。募集人員に変更があった学部・学科では、志願者数は前年並みでも倍率は変動するため注意が必要です。さて、入試の中心となる前期日程の出願予定者は前年比

文系学部全体の出願予定者数は前年比98%、「外国語」「地域・国際」「国際関係」といった国際系分野での減少が目立ちます。一方、「経済・経営・商」は前年比104%と文系学部で唯一、出願予定者が増加しています。昨年は「社会・国際」「経済・経営・商」が大きく減少しました。理系学部は前年並み。「農」「医・歯・保健」(特に医療関係の分野)に出願予定者が集まっています。近年、学部・学科の新設が相次ぐ情報系は、学際系の「情報」の出願予定者が前年比115%。(昨年度は「理」「農」「歯」「薬」が人気、工学系の「通信・情報」、学際系の「情報」分野は前年並みにとどまっています)。

多くの国公立で必要となる5教科7科目の平均点(900点満点)は、文系が542.2点(+22.5点)、理系が554.0点(+30.8点)と文理ともに大きく上昇しました。前述したように数学2科目の平均点アップの影響が大きいです。共通テストの平均点上昇は、各大学のポスターラインにも大きく影響します。昨年の共通テストは難化しましたが、今年は一転して得点率8割(720点)以上の高得点層が前年から倍増しました(前年比文型19.9%、理型19.6%)。文系・理系ともに分布の山は高得点側にシフトしました。予想ポスター得点率(静岡人文・社会：42.0(70%)、人文・法：42.0(70%)、人文・経済：58.5(65%)、教育・国語54.9(61%)、教育・社会：56.7(63%)、教育・理科：53.1(59%)、工・機械工42.7(61%)、工・電気電子工42.7(61%)、農・生物資源53.1(59%)、農・応用生命56.7(63%)、情報・情報科学40.2(67%)、情報・情報社会52.7(62%)など)。

大学受験は2月が本番です。これから2次試験までの1か月間をどのように過ごすかがとても重要になってきます。共通テストの結果に一喜一憂することなく、できるだけ早く気持ちを切り替えてこの後の私立大一般選抜、国公立大2次試験に臨んでほしいです。粘り強い受験が合格への鍵であることは言うまでもありません。国公立大は後期日程までしっかりと受験

2023年度大学入学共通テスト 科目別平均点・受験者数

教科	科目		満点	本校		2023年度 平均点	2022年度 平均点	前年差
				受験者数	平均点	[中間集計]		
外国語	英語リーディング		100	257	47.04	53.82	61.8	-7.98
	英語リスニング		100	256	56.62	62.35	59.45	2.9
数学	①	数学Ⅰ・数学A	100	175	45.57	55.65	37.96	17.69
	②	数学Ⅱ	100	2	32.50	37.65	34.41	3.24
		数学Ⅱ・数学B	100	150	47.66	61.48	43.06	18.42
国語	国語		200	258	98.87	105.74	110.26	-4.52
理科	①	化学基礎	50	117	25.94	29.42	27.73	1.69
		生物基礎	50	118	20.44	24.66	23.9	0.76
		地学基礎	50	1	26.00	35.03	35.47	-0.44
	②	物理	100	40	57.95	63.39	60.72	2.67
		化学 (得点調整前)	100	59	51.12 (45.20)	54.01 (48.56)	47.63	6.38
		生物 (得点調整前)	100	23	40.51 (32.91)	48.46 (39.74)	48.81	-0.35
		地学	100			49.88	52.72	-2.84
地理歴史	世界史B		100	48	53.23	58.43	65.83	-7.4
	日本史B		100	104	54.96	59.75	52.81	6.94
	地理B		100	65	53.09	60.46	58.99	1.47
公民	現代社会		100	111	55.34	59.46	60.84	-1.38
	政治・経済		100	14	53.14	50.96	56.77	-5.81
	倫理, 政治・経済		100	5	52.20	60.59	69.73	-9.14
総合型※	5教科7科目文系型		900	64	481.05	530	507	23
	5教科7科目理系型		900	40	499.15	547	510	37

◇科目平均点は大学入試センター発表の数値

◇2023年度平均点は1/20発表の中間集計のもの

得点調整を実施した科目は調整後の平均点、()内は得点調整前の平均点

◇総合型は河合塾推定値(理科①は2科目を1科目とみなして集計)

※総合型

5教科7科目文系型

英語・数学(2科目)・国語・理科(1科目)・地歴公民(2科目)受験者

5教科7科目理系型

英語・数学(2科目)・国語・理科(2科目)・地歴公民(1科目)受験者

三年部より

「ホーム」と「アウェイ」

三学年主任 杉浦 伸幸

サッカーで「ホーム」と「アウェイ」という言葉をよく使います。ホームゲームは、勝つて当たり前。アウェイゲームは、負けなければ(同点で)勝ちと同等だと言われます。

「ホーム」の環境を自ら作り出し、いかにあなたのサポーターを増やすことができるか。「ホーム」という環境が増えれば、大きなことに挑戦することも容易で、あなたが大きく成長を見せるでしょう。「ホーム」づくりは簡単ではありません。そのため、何事にも真摯な態度を継続する努力をしましょう。そして、まずはあなたの母校となる袋井高校という「ホーム」を大切にして下さい。今後のご活躍を祈念しています。

保護者の皆様、お子様の御卒業おめでとうございます。三年間、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。今振り返ってみると、本当にあつとつ間の三年間でした。三年生になつてからは、真摯に自らの行く末を思い、ひたむきに努力を重ねていくことで、あるいは不可能にも思われた可能性を切り拓き、あるいは自らの身の丈を知り、それでも望み得る最良の進路希望実現のために今も走り続けています。志を強くもちぶれない芯をもって走り続けるお子様方を見てみると、御家族の温かい支えがあればこそだということを感じずにはいられません。

お子様方は、四月から希望に満ちた新しい生活をスタートさせていきます。保護者の皆様には、どうかその姿を今より少し離れた所から、変わらず見守っていただければと思います。

二年部より

3年ゼロ学期が終わりに近づきます

二学年主任 大石 真理

昨年度末の「あいのだより」には、2学年後半で部活動生徒会・委員会活動のリーダーを受け継ぐことについて「工夫と創造」の実践を期待するということ、そして、互いの利益を考えながら自分たちなりに「カスタマイズ」していったほしいということを書きました。

この一年を振り返ってみますと、生徒のみなさんは新リーダーとして上手に「カスタマイズ」をすることができたのではないかと思います。

さて、今回は正反対のことをお伝えします。「伝統の継承」とつまり、どんなにカスタマイズしようとも、守るべきところはきちんと守るということです。

袋井高校の根幹を為すものは、校訓にありますように「自立・連帯・敬愛」です。校訓の実践を目指して、生徒の皆さんにとって高校生活最後の一年が実りあるものになりますよう、職員一同全力を尽くす所存です。

そのためには、今一度、学習を中心とした生活デザインを組み立てていただきたい。これも以前述べたことですが、「時間がな」というのは「時間を作っていない」ということに過ぎません。あれもある、これもある、だから学習できない、というのでは高校生として本末転倒です。例えば、平日は夜八時から十時までは勉強する、と決め、その前にすることや、帰宅時間を逆算します。過去に運動部に所属しながら、勉強時間を捻出するために早起きをして、二、三時間学習にあて、見事国立大学に合格した卒業生もいます。

卒業後の進路を他人事ではなく自分のこととして、そしていすれやってくる現実としてとらえ、自らすべきことを見つけ、生活を組み立てること。3学年になる前に、最低限行っていたいただきたいと思えます。

一年部より

世にすさまじきもの タイパ

一学年主任 藤井 元喜

以前、3年担任として夏の三者面談を行ったときのことです。難関大学志望生徒に模試の結果を踏まえて「もう少し頑張ってください」と伝えたところ、普段は温厚な保護者の方が血相を変えて「うちの子はこのように頑張っているのに、さらに頑張れというのですか!?!」と仰いました。この生徒は入学当初より真面目に学習してきた生徒です。「一分一秒を惜しんで勉強していた(本人談)姿を間近で見ていた保護者の方に、私の言葉は非常に残酷に響いたのだと思います。

さて、本校1年生に関して以下のデータがあります。
平均学習時間：平日100分弱 休日150分弱
2時間以上家庭学習時間を確保して部活動との両立をしている生徒：58.2% 国公立大学志望者(7月)：17.5名

本校では平日2時間以上・休日3時間以上を学習時間の目標として掲げています。今の時期の学習は基礎学力のみならず、学習習慣・学習方略、そして受験勉強に耐える精神的・肉体的強靭さを身に着ける役割も担っています。以下は前述の生徒が書いた「合格体験記」の抜粋です。いろいろ考えさせられます。

「1・2年生の時に、もっと勉強しておけばよかった、の一言です。テスト前にまとめて勉強するだけで本質を理解できていませんでした」「高い目標を掲げていたことは受験勉強をする上でプラスだったと思います」「何が本番助けてくれるかわからないのでやれることは全部やってやるうと思いましたが」「受験はつらいです、本当に。何をすれば合格するかわかりません。やれるだけやってみてください。試験当日に信じられる自分を作ってください」